

入選

たくさんの親切

福岡県 熊西小学校

二年 坂本 絢芽

わたしは、8さいのたん生日の日に、学校のかえり道で、ころんでしまいました。いたくておきあがることができずにいると、お友だちのお母さんが、こえをかけてくれて、おこしてくれました。だけど、ころんだところのいたさで、「ありがとうございます」のことばをつたえられず、ただなっていました。

学校の近くだったので学校にもどり、先生と教頭先生に、手あてをしてもらいました。でも、右手だけがいたくてうごかせません。先生方にも「ありがとうございます」のことばを、きちんとつたえられませんでした。

わたしの右手くびは、こっせつしていたのでこていされてしまいました。いつも字を書いたり、おはしをもったり、右手をつかうことが多いのに、それができなくなりました。とてもかなしかったし、「どうしたらよいのかなあ」と考えてしまいました。

「左手をつかいながらできないことは、だれかにたすけてもらわないといけないんだよ。」

とお母さんに言われました。人にやさしくされたり、たすけられるのはすこしはずかしいなあと思いながら、つぎの日学校へ行きました。学校に行くとちゅうで、きのうたすけてくれた、お友だちのお母さんに会うことができ、

「きのうは、ありがとうございます。」

と、おれいをつたえることができ、気持ちのスッキリしました。学校につくと、お母さんが先生たちといろいろ話しているときに、お友だちが、

「あやめちゃん、どうしたの。だいじょうぶ。」

とこえをかけてくれ、近よってきてくれました。

朝の会するとき先生が、わたしがケガをしたこと、右手がつかえずに、たすけがひつようなことをみんなに話してくれました。みんながわたしのことを一生けんめい考えてくれて、いろいろなことをすすんで手つだってくれました。

けしゴムで字をけしてくれたり、やさいの水やりをしてくれたり、朝のじゅんぴを手つだってくれたり、にもつをもってくれたり、雨の日にいっしょにカサに入れてくれたり、きゅうしょくのときには、一口サイズに切ってくれたり、パンのふくろをあけてくれたり、いつも先生やみんながわたしがこまっっていないか見てくれていて、たくさん、たすけてくれました。

わたしは、みんなが手つだってくれたおかげで、楽しく学校にかようことができました。みんなに心をこめて、「ありがとう」をつたえたいです。こんどはわたしがこまっている人を見つけたら、たすけてあげたいです。